

あけましておめでとうございます。今年も戊戌年、昨今のペット事情では犬は猫に押され気味とか。何故、猫が干支からはずれているのか？ネズミにだまされたという逸話が有名ですが、もっともらしい理由は次のようです。「干支は、紀元前 1600 年ごろから中国で利用されていました。それが紀元前 200 年頃、暦を国民にも覚えやすくするために、動物の名前を使って差別化し広められたとされています。猫はエジプトから伝わった動物で、当時の中国ではまだ一般に広まっていなかった。そのため干支からはずれたということです。」干支を使っている国々の中で、タイ、ベトナム、チベットでは、卯年に兎の代わりに猫が入っています。因みに、十二支の漢字のもともとの意味は農業用語です。今年の「酉」は壺の中で盛んに醗酵している状態、そして今年の「戌」は茂るに通じ、欲求不満が一杯になる意味だそうです。良い年になりますように。

### 【最近目立つ病気】

インフルエンザが例年よりも約 1 か月早いペースで流行しだしています。A 型も B 型もみられて混合流行の様相です。冬休みで小康状態となり、新学期とともに流行が拡大すると予想されます。溶連菌感染症、アデノウイルス感染症、ウイルス性胃腸炎も目立っています。アデノウイルスは近年は夏の感染症ではなくなり通年性にみられるようになりました。ウイルス性胃腸炎は、この時期に多くみられます。ノロウイルス検査の保険適応は 3 歳未満と 65 歳以上なので、検査の機会は少ないですが今シーズンは少なめの印象です。

### 【インフルエンザワクチン不足】

当院では、12 月上旬からインフルエンザワクチンが不足し在庫切れのため接種を中断しています。その理由については今のところ以下のとおりです。

当初予定していたワクチン株の増殖が悪く、通常の 3 割くらいワクチンが不足すると予想され急遽ワクチン株を変更したことが、今回のワクチン不足の主な原因とされています。

ワクチン製造の概略は、まず WHO (世界保健機関) が 1 月から 2 月に次の冬に流行しそうなインフルエンザの型を発表します。その後、厚生労働省が検討、決定し、ワクチン製造メーカーに依頼してインフルエンザワクチンを製造しています。

現在のワクチンは流行しそうな A 型 2 つと B 型 2 つのあわせて 4 種類のウイルスに効果があるものを作っています。A 香港型は、他に比べてワクチンの効果が製造段階で低くなってしまっていたのですが、効果が低くならない A 香港型のウイルスが新たに日本で見つかりました。そこで今回、この新たに見つかったウイルスを使ってワクチンをつくることになりましたが、ウイルスがうまく増えないことが判明しました。

そのため、新しいウイルスを使うことを断念し、A 香港型は前シーズンと同じウイルスでワクチンを作るように切り替えました。

つまり、より効果のあるワクチンを導入しようとしたのですが、こうした方針変更の影響で、1 ヶ月ほど製

造スケジュールが遅れてしまいました。

メーカーが試験的に製造したときは問題がなかったのですが、大量生産をしたところウイルスが増えないという現象が起きました。過去にこうした例はなく、予測は困難だったそうです。今後、原因の解明が必要そうです。



### 【感染性胃腸炎】

冬季に起こるウイルス性胃腸炎の主なものはノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス、サポウイルス、アストロウイルス等があります。よく知られているノロウイルス感染について国立医薬品食品衛生研究所のホームページを参考に説明します。

ノロウイルス感染における潜伏期間は 24 ~ 48 時間で、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛が主な症状で、発熱は一般的に軽度(37℃ ~ 38℃)です。特に、突発的な吐き気や嘔吐が特徴的で、室内等で嘔吐をして、環境を汚染する原因となります。通常は、これらの症状が 1 ~ 2 日続いた後、治癒し、後遺症は残りません。感染しても症状がでない場合(不顕性感染)や軽い風邪や悪寒、あるいは吐き気だけの様な症状の場合もあります。一方、高齢者では、嘔吐物による窒息や誤嚥性肺炎により死亡する例がまれに認められています。

症状は一般的に数日で快方に向かいますが、糞便中には、通常は 1 週間程度、長い場合は 1 か月以上の長期間に渡ってウイルス粒子の排出が続きます。そのため、糞便中のウイルス粒子が手指に付着するとドアノブ等を汚染して、二次感染や集団感染の感染源となります。

ノロウイルスの感染経路は基本的に経口感染ですが、主に以下の 3 つに区分することができます。

#### (1) 食品媒介感染 (食中毒)

・ウイルスに汚染された食品 (カキ

等の二枚貝に含まれていることがあります) を、生または十分に加熱しないで食べた場合。

・ノロウイルスに感染した人が調理中に手指等を介して食品や水を汚染し、その汚染食品を食べたり飲んだりした場合。

#### (2) 接触感染

・感染した人の糞便や嘔吐物に触れ、手指等を介してウイルスが口から入った場合。

・感染した人の手指等に付着したウイルスがドアノブ等の環境を汚染し、それに接触した手指等を介してウイルスが口から入った場合。

#### (3) 飛沫感染・塵埃感染

・患者の下痢便や嘔吐物が飛び散り、その飛沫 (ノロウイルスを含んだ小さな水滴) が口から入った場合。

・患者の嘔吐物の処理が不十分なため、それらが乾燥してチリやほこり (塵埃) となり空气中を漂い、それが口から入った場合

ノロウイルスにはワクチンがなく、有効な治療薬もありません。上述の感染経路を理解し、対策をとることが重要です。罹患した場合は、水分を少しずつ摂取し保温と安静に努めることです。



☆大手町の夜間急病診療所 (Tel:222-0099) では午後 7 時から 11 時まで、小児科と内科の診療を年中無休で行っています。加畑の担当は、2/1、2/15、3/15 の予定です。なお、1 月 14 日は当番医です。

☆金沢市では幼児期の任意接種のワクチン (おたふくかぜ・インフルエンザ・B 型肝炎ワクチン) についての助成金制度を行っています。詳細は受付でお尋ね下さい。

☆世界の宝「憲法 9 条」を次の世代に贈りましょう。

